

講義名	ホテル事業計画論			授業形態	
担当教員	伊賀 尚武	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
				ナンバリング・コード	
主題と概要					
ホテル業界には、ただ需要が見込まれるからという理由だけでなく、ホテルに対し何らかのロマンを抱き事業を立ち上げる人々が意外と多く存在します。（他の事業のほうが安定しており確実な収益を見込めるにも関わらず） 本科目では、そのようなホテリエがビジョンとコンセプトを定め、リアリティのある開業スキームに沿ってホテルを開業に至らせるまでの過程を学習します。また、最近よく話題にのぼる大型チェーンのホテル開業についてもその手順について詳しく学びます。 同時に、事業を長期的に継続させるため開業時に考えておかななくてはならないポイントについても議論していきます。					
到達目標					
》ホテル開業に至る仕組みが理解できるようになる。 》ホテルの所有、経営、運営について理解できるようになる。 》独立系ホテルと大型ホテルチェーンの事業計画の違いが理解できるようになる。					
提出課題					
》毎回講義の終わりにミニレポートを提出（250字以内） 》学期末テスト					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
ミニレポートでの疑問点や重要事項は次の講義の中でシェアする。					
評価の基準					
》講義毎のミニレポート 40% （第2～13回 講義の終わりに提出） 》ホテル開業シュミレーションレポート 20%（第14回 講義の終わりに提出） 》学期末テスト 40%					
履修にあたっての注意・助言他					
授業の中にできるだけ対話を取り入れたいと思います。こちらから挙手の依頼や問いかけをすることがありますので、その時は積極的に関わってください。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.なし。					

その他		
毎回自作パワーポイントを教材として使用する。		
授業計画		
1. ガイダンス 2. ホテル事業開発の歴史 3. ビジョンとホテルコンセプト 4. ホテル開業スキームの概要 5. ロケーション選定、市場分析 6. ホテルデザイン の決定 7. パートナー選定 （設備関連） 8. パートナー選定 （サービスデリバリー関連） 9. 人材の選定 10. ビジネスプランニング （財務） 11. ビジネスプランニング （マーケティング） 12. ホテル開発事例 独立系ホテル 13. ホテル開発事例 大型チェーンホテル 14. ホテル開業シュミレーション 15. まとめ		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間		
予習： 毎回次回授業の課題を出しますので、事前に調べておく（120分） 復習： 受講した内容について復習を行う。（120分）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
》到達目標を達成することでびに貢献できる。 》本授業を受講することにより、業社会においてホテル開業時の基本提案が可能になる。 》応用力を養うことにより他の業界においてもプロジェクトマネジメントの能力を発揮できる。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
》講義の中で、当方からの問いに対し意見やアイデアをレスポンスする機会を設ける。 》授業内で提示する課題についての回答に ICTを使用する。		
実務経験の有無及び活用		
実務経験あり、外資系ホテルで営業とマーケティングを担当、その経験を活かし“魅力的かつ収益力の高い宿泊施設づくり”について皆さんと一緒に研究を進めていきたい。 また、最新のホテル開発事情についても詳しく解説を行う。		
備考		
基本的に講義テーマに関連する書籍や資料の持ち込みは自由とする。		